

A. 主な動き

1. 内政

▼政党統合の動き

・13日、「欧州・アクション・ムーブメント」党は、自由党に吸収される形での統合を決定。自由党は、ウンティラ「欧州・アクション・ムーブメント」党首及びペトレンコ同副党首を自由党副党首とすることを発表。

・13日、「我々のモルドバ」党は、自由民主党との統合を決定。14日、フィラト首相(自由民主党党首)は、自由民主党は「我々のモルドバ」党との統合を3週間以内に正式に決定する見込みと発言。ウレキヤン「我々のモルドバ」党首は、今夏のキシナウ市長選挙へ立候補する可能性に言及、AELは大統領選出に向けて共産党との連立を検討すべきと発言。

・15日、「統一モルドバ」党は、党員の半数以上が民主党に加入する意向と公表。民主党は、「統一モルドバ」党との統合に向けた協議を行う用意がある旨発表。

▼各勢力の動き

・16日、共産党は党代表者会議を開催、キシナウ市長選挙を含む地方選挙における同党の候補者選出につき協議。

・17日、サルブ共産党議員は、マルケルト・ベニス委員会事務局長と会談、大統領選挙及び憲法・選挙法改正に向けた見通し等につき協議。

・18日、AEL評議会が開催、AEL各党代表者は司法関係者による作業部会を設立し、3月中に大統領選出の方法・期日を決定すること、6月上旬に地方選挙を実施することで合意、その他次官任命問題を含む各議題につき協議。

2. 経済

・12日、議会が2011年度予算を採択。同予算の歳入は2010年度比12.6%増の311億レイ。歳出は326億レイ。財政赤字額はGDP比1.9%。

・14日、ブリガ労働社会保障家族相は、消費者物価指数及び年間給与額の上昇を受け、4月1日から年金額を7.8%増加する旨発表。

・14日、国家統計局は、2月の消費者物価指数は前年度比1.2%増と発表。

・17日、第12回モルドバ・露政府間経済協力委員会において、双方は露天然ガスの対モルドバ輸出及びその対欧州トランジットに関し新たな契約書に署名することで合意。

3. 外交

▼13～15日、ルプ大統領代行のブリュッセル訪問

・14日、ルプ大統領代行は、ファン・ロンパイ欧州理事会常

任議長と会談、モルドバ・EU関係、モルドバ政府の運営プログラム、モルドバ・EU連合協定、大統領選出等につき協議。

・14日、ルプ大統領代行は、ブゼク欧州議会議長と会談。ブゼク議長は、モルドバが東方パートナーシップ対象国の手本となるよう期待を表明、欧州統合改革の重要性を指摘。ルプ大統領代行は、欧州統合は政党に関わらず全政治勢力から支持されている理念である旨説明。

・15日、ルプ大統領代行は、フィーレ欧州拡大・近隣政策担当委員と会談。フィーレ委員は、政治危機を克服し改革の安定を確保することの重要性を指摘。ルプ大統領代行は、EUの対モルドバ支援に感謝。

▼16日～17、レアンカ外務・欧州統合相のルーマニア訪問

・16日、レアンカ外務・欧州統合相は、バセスク・ルーマニア大統領とバコンスキ・ルーマニア外相と会談、両国の電力及びガス網の接続、文化・経済協力、対モルドバ投資等につき協議。

・16日、両国外相は、4月にルクセンブルクにて非公式「モルドバ・フレンズ」会合を開催する可能性につき検討。

▼その他

・17日、ラザル経済相は、FTA創設交渉開始にむけたEUの勧告実施に関する報告書を欧州委員会に提出。

4. 沿ドニエストル

・14日、沿ドニエストル「外務省」は、バイデン米国副大統領が言及したモルドバの一体性を前提とする解決策は、当事者の立場と一致していないと指摘する声明を発表。

・15日、フィラト首相は、国家再統合委員会の創設を発表。

5. 防衛

▼ドミニク参謀総長のアフガニスタン訪問

・ドミニク参謀総長兼軍司令官が、アフガニスタンを訪問し、リトアニア主導地域復興チームの活動を視察。20日まで滞在予定。

6. 二国間関係

▼16日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ロゾヴァ村初等教育機関における給食環境改善計画」G/C署名式

・ロゾヴァ村の幼稚園及び小学校に対して給食調理用の機材、及び食堂用の家具総額4万6,324米ドルを供与。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。(了)